

◎ビソルボン注射液 [注], ◎ビソルボン吸入液0.2% [外], ▼ビソルボンシロップ [内]

【重要度】 【一般製剤名】プロムヘキシン塩酸塩 bromhexine hydrochloride 【分類】気道粘液溶解剤

【単位】◎4mg/A [0.2%2mL], ◎0.2%吸入液 [1本45mL], ▼0.08%シロップ

【常用量】■注射：1回4～8mg■内服：1回4mg1日3回■吸入：1回2mLを生食等で2.5倍に希釈して1日3回ネブライザー吸入

【用法】■注射：1日1～2回静注，筋注■吸入薬は水で希釈した場合は咳き込みが増加する傾向にある

【透析患者への投与方法】腎排泄性薬物ではないので減量の必要はないと思われる (Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】インドの生薬 *Adhatoda vasica* の有効成分を基礎として開発された気道粘液溶解剤で、気道分泌増大作用を有し、喀痰の粘度に関与する酸性糖蛋白を溶解・低分子化することによる気道粘液溶解作用をあらわす去痰剤。

【主な副作用・毒性】ショック，悪心，嘔吐，発疹，搔痒感，心悸亢進，頭痛，咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，喘鳴など

【F】26% (1)

【tmax】8hr (ラット) (1)

【代謝】初回通過効果は75% (Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982) 代謝物はシクロヘキシル環の水酸化体とその閉環体であり、尿中には主としてグルクロン酸抱合体として排泄 (1)

【排泄】尿中に77%回収され、主にグルクロン酸抱合体 (1) 尿中未変化体排泄率0.1% (Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982) 【CL】1.1L/min (1)

【t1/2】1.7hr (1) 生物学的半減期6hr (Biopharm Drug Dispos 3: 337-344,1982)

【蛋白結合率】99% (1)

【Vd】3L/kg (1)

【MW】412.59

【透析性】データなし (1) 蛋白結合率が高いため除去されないと思われる (5)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない【OW係数】資料なし (1)

【備考】凍結や結晶析出のおそれあり冷蔵保存をお避ける (1) 清潔に扱い，開封後2週間で交換 (2008 ICT)

【更新日】20210712

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。